

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2018年10月)

平成30年11月  
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 6日、ウーヤヒヤRND党首（首相）は同党の会合にて、「議会は解散されず、大統領選は予定どおり来年4月に行われる。国民議会議員たちは最早ブハジャ議長と協働していく気持ちはないようであり、同議長に尊厳をもった辞任を勧める」旨発言。
- 16日、ブハジャ国民議会議長は改めて辞任要求を拒否し、議員多数を扇動して、自分の議員特権を違法に剥奪したウルド・アッベス FLN 事務総長等を非難し、自らの進退はブーテフリカ大統領が決定するものであると述べた。
- 18日、国民議会（APN）法務・行政・自由委員会は、APN議長の機能不全のため同議長職の空席を確定。
- 21日、議会運営委員会は、法務・行政・自由委員会による18日会合の報告を受けた後、議会活動凍結の解除と通常活動の再開、及び2019年予算法の財務・予算委員会への送致を決定。
- 24日、国民議会議員の過半数は、野党が会合をボイコットし欠席（1名は出席）する中、FLN会派筆頭のムアーズ・ブシャーレブ議員を320の賛成票（出席議員288名、委任状33名。棄権1名）にて同議会議長として選出。同日、同議会議員は、新議長の選出前に、APN議長職機能の不全等から同議長職の空席状態を確定したAPN法務・行政・自由委員会報告を承認。ムクリ MSP（平和のための社会運動）党首は、同議長選出に関し法的手続に則っていないとSNSで批判。
- 25日、ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相とテンマール住宅・都市計画相はビスクラ県を訪問し、ブーテフリカ大統領の指示に基づき全国で住宅8万5千戸の供給を開始すると発表。
- 27日、ベッダ議会担当相は、国民議会新議長の選出について法的手続きに則り完結した旨記者に述べた。
- 27日、シハーブRND報道官はRNDとしてブーテフリカ大統領に対し、継続性確保のため新たな任期就任を改めて求めた。
- 28日、ラウイア財相、国民議会財政・予算委員会における来年度予算案審議にて、工業、建築業、農業が来年の成長への触媒となる旨発言。

2 外交

- 3日、ウーヤヒヤ首相はポルトガルを訪問し、コスタ首相と第5回二国間ハイレベル会合を共催し、市民防衛、保健、空輸協力に係る各協定。人材開発・職業訓練、社会的保護・改善、アルジェリア教育機関におけるポルトガル語の促進等13件に署名がなされた。
- 14日、メサヘル外相は来訪したオンエアマ・ナイジェリア外相と「共同プロジェクト進捗フォローアップ行程表」、水資源分野に係る覚書等に署名した。
- 15、16日、アルジェにてAFRIPOL（アフリカ警察協力機構）第2回総会が開催。エル・ハビリ総会議長（アルジェリア国家警察庁長官）は、「今次総会は、AFRIPOL活動計画の実施において重要な一歩。AFRIPOLの能力は開設以来強化され、情報通信システム「AFSECOM」の開発、地域・国際警察協力等において既に確実な進歩を遂げている」旨演説。
- 16日、アルジェリア代表は、第73回国連総会第4委員会での非植民地化問題の議論にて、「民族自決の精神はアルジェリアのDNAに刻まれている。西サハラはアフリカに残る最後の植民地問題。植民地独立付与宣言（国連総会決議1514号）にも関わらず、モロッコは西サハラの民族自決権に反対し続けている。民族自決権は国際法上の権利であり、本年4月の安保理決議2414号でも確認されている。また、AUは首脳級で本問題に関与してきており、住民投票を通じた問題の解決を求めている。AUはトロイカによる本問題への関与を決定した。12月5、6日のラウンドテーブルへの国連からの招待に対し、公式オブザーバーとして前向きな返事をした。モロッコとポリサリオ戦線が本会合の出席に前向きな返事をしたことを歓迎し、前提条件なく誠実な議論が行われることを期待する」旨述べた。
- 21日、メサヘル外相は来訪したイスマイール・モーリタニア外相と会談し、サヘル・マグレブ地域情勢、テロ・過激主義対策、マグレブ連合の再活性化等について協議した。両外相は共同記者会見にて23日からヌアクショットにて開催されるアルジェリア物産展について触れ、メサヘル外相は来年前半に開催予定の第18回両国間協力に係る高等委員会開催に向け、2019年初めにモーリタニアを訪問する予定と述べた。
- 29日、メサヘル外相及びユースフィー産業・鉱業相は訪仏し、第5回仏・アルジェリア経済合同委員会（COMEFA）に出席。同外相は、マリ、リビア、シリア及び中東情勢が協議された第4回仏・アルジェリア戦略対話に出席。

### 3 治安

- 13日、トテムセン県の牧草地帯で野営していた家族が仏植民政府時代に敷設された対人地雷を踏み、4名死傷。同地域では仏対人地雷が頻繁に爆発しており、軍が多大な努力を払って地雷を撤去しているにもかかわらず放牧民が被

害に遭う状況が続いている。

● 21日、アルジェリア・プロテスタント教会全国委員会は、ベジャイア県の教会3箇所が県知事の命令で閉鎖されたとしてこれを非難する声明を発信した。かかる弾圧は信仰の自由を認めるアルジェリア憲法にもアルジェリアが批准する人権の国際協定にも反するとして、信者の権利をどこまでも擁護する構えをみせている。

● 22日付け報道によると1月から22日まで国境警察が扱った外貨不正輸出事案136件、押収外貨は650万ユーロ、50万ドルであった。持ち出される外貨の大半は闇両替で不正に得たもので闇両替は法律で禁止されているにもかかわらず当局はこれを放置しておりIMFは闇両替の蔓延がマクロ経済に及ぼすリスクに警鐘を鳴らしている。輸出先は資金出所の検査が甘い国で知られているトルコを筆頭に中東国、南アジア国等とされる。

● 23日から24日にかけての夜間、コンスタンティーヌ市中心部の区画に約20人から成る非行集団が到来し、区画住民の駐車車両約40台を軒並み破壊した。犯行動機は以前、仲間が同区域の番人に取り押さえられたことへの報復とされる。コンスタンティーヌ県警は本件を重大視し、断固とした捜査を行う旨確約した。

#### 4 経済

● 2日、国営税関伝達・情報システムセンターは、本年1～8月の乗用車のCKD方式による組立て生産向け構成パーツの輸入高が前年同期比で95.57%増の18億3000万ドルに上ったことを発表。旅客・貨物運搬用車両の構成パーツの輸入高は、19.33%増の3億8620万ドル。

● 3日、世界銀行が最新の中東・北アフリカ地域の経済情勢に関する報告書の中で、アルジェリアの2018年の実質GDP成長率を2.5%とする予測を発表。6月に発表した3.5%の予測から下方修正。2018年のインフレ率については6.5%とし、前回予測の7.5%より数値を下げた。

● 3日、アルジェリア商工会議所とポルトガル商工会議所はアルジェリア・ポルトガル・ビジネス評議会を設立する協定に署名。

● 7日、ソナトラック社と仏トタルは、出資比率51対49のジョイントベンチャーSonatrach Total Entreprise Polymères (STEP) を設立し、アルズーに石油化学コンビナートを建設する協定に署名。投資の規模は約14億ドル。

● 8日、IMFは最新の世界経済見通しを発表。アルジェリアの2018年の実質GDP成長率及びインフレ率に関し、3日の世銀発表と同じく各々2.5%（前回予測3%）、6.5%（同7.6%）とした。また、当国の2018年の失業率を11.6%とし、2019年には12.3%まで悪化するとの予測も

示した。

● 9日、ソヴァック・グループは、ルリザンヌの工場に組立て生産されたフォルクスワーゲンのティグアン及びパサートの販売を開始。同社が販売するフォルクスワーゲン車は9車種に。

● 11日、世界銀行は新たに人的資本指数を発表。評価対象157か国中アルジェリアは93位。他の北アフリカ諸国は、チュニジア96位、モロッコ98位、エジプト140位及びモーリタニア150位。

● 11日、仏製薬会社サノフィの新工場がアルジェ郊外シディ・アブダラーで操業開始。ユースフィー産業・鉱業相が式典に出席。投資規模は8500万ユーロで、アフリカ最大の薬品生産・販売の拠点となる。

● 13日、ユースフィー産業・鉱業相は開発可能な新たな鉱山の発見のために、今後100億ディナールの予算が割り当てられると発言。

● 14日、本年第二四半期における公的部門の産業生産が、前年同期比で4.5%減少したと国家統計局が発表。炭化水素部門は全体で3.5%の減少。原油、天然ガス及び液化天然ガス部門が軒並み減少する一方で、石油精製は4.6%増加した。

● 16日、アリ公共事業・運輸省次官が東西高速道路の未完成区間の建設現場を視察。全長84キロの同工区は本年1月に16か月の工期で中国中信(CITIC)が受注契約を結んだが、現在工事は50%未満しか完了しておらず、同次官は受注企業とアルジェリア高速道路公団(ADA)に対し、最初の34キロ区間の引き渡しを本年末までに完了するよう強く求めた。

● 16日、ギトゥーニ・エネルギー相は、視察先のモスタガネムで、国内のLPG車の台数を2020年までに50万台に増やすことで、石油製品の輸入を30%削減できると発言。また、2030年までに1000カ所の既存のガソリンスタンドでLPGの供給を始める計画である旨述べた。

● 22～23日、セヴィタルのレブラブ会長は、独シーメンス社の幹部二人と、海水淡水化事業における企業コンソーシアムを設立するための協議を行った。

● 22日、ギトゥーニ・エネルギー相は、150メガワット分の太陽光発電所の建設に係る競争入札が、本年末までに行われる旨発言。

● 23日、ユースフィー・産業・鉱業相は、アルジェリア・セメント産業グループ(GICA)の工場を視察し、当国のセメントの生産量を2020年までに年4000万トンに増大させ、輸出を拡大する旨発言した。

● 27日、国家統計局(ONS)は、当国の2018年第二四半期のGDP成長率が、前年同期比で+0.7%であった旨発表。炭化水素分野が-8.2%であったのに対し、非炭化水素分野では+2.8%の成長。特に農業分野(+8.9%)及び建築・公共事業・水道分野(+3.0%)の伸びが顕著。

- 29日、ソナトラック社は仏トタル及び伊エニとオフショアの油田開発に係る二つの協定を締結。出資比率はソナトラックが50%、トタル及びエニが25%ずつを担う。また、ソナトラック社とトタルは再生可能エネルギーの新規開発に関する協定にも署名。
- 29日、国家統計局は本年9月までの12か月間の平均インフレ率を4.7%と発表。
- 30日、ギトゥーニ・エネルギー相は、炭化水素法の改正が2019年7月末をめどに行われる旨表明。

## 5 日本との関係

- 6～7日、TICAD 閣僚会合が東京で開催され、アルジェリアからはアヤディ外務次官が出席。また、6日同地にて山田賢司外務大臣政務官とアヤディ外務次官が会談し、両国関係の更なる発展等について意見交換を行った。
- 7日～9日、ハジャル高等教育・科学研究相が、科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STS フォーラム）に出席。
- 7日、小川大使は、ラウイア財務相を表敬し、二国間の投資協定及び租税条約（二重課税防止条約）の交渉等、日・アルジェリア間の経済関係の強化について意見交換を行った。
- 9日、小川大使は、ルー法務・国璽相を表敬し、司法分野における二国間の協力等につき意見交換を行った。
- 25日、小川大使は、メデルシ憲法評議会議長を表敬し、二国間の政治・経済関係や日本の最高裁と当国の憲法評議会との協力等に関し意見交換を行った。

### <アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
10月1日	モロッコ	ギトゥーニ・エネルギー相	第11回アラブ諸国エネルギー会議に出席。モロッコのラッバー・エネルギー相と会談
10月1日	スイス	メサヘル外相	第69回国連難民高等弁務官事務所執行委員会に出席。グランディ国連難民高等弁務官と会談
10月1～2日	ギニア	ベンサラ国民評議会議長	ブーテフリカ大統領の代理として、ギニア独立60周年記念式典に出席。コンディアノ国民議会議長が応接、コンデ大統領と会談
10月3日	ポルトガル	ウーヤヒヤ首	コスタ首相と二国間ハイレベル会

		相	合を共催。ソウザ大統領，ロドリゲス国会議長を表敬
10月3日	ポルトガル	メサヘル外相	二国間ハイレベル会合に出席。シルヴァ外相と会談
10月3日	ポルトガル	ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相	二国間ハイレベル会合に出席
10月3日	ポルトガル	ザアラーン公共事業・運輸相	二国間ハイレベル会合に出席
10月3日	ケニア	ベンメサウド観光・手工業相	第1回 AU 専門技術委員会（CTS）の観光相分科会に出席
10月4日	フランス	メデルシ憲法評議会議長	仏第五共和制憲法60周年記念式典に出席
10月5～7日	日本	アヤディ外務次官	TIGAD 閣僚会合に出席。山田外務大臣政務官と会談
10月6日	チュニジア	ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相	フラティ内相と二国間委員会を共催。シェーヘッド首相及びエセブシ大統領を表敬
10月7～9日	日本	ハジャル高等教育・科学研究相	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STS フォーラム）
10月12日	赤道ギニア	メサヘル外相	ブーテフリカ大統領の代理として，赤道ギニア独立50周年記念式典に出席
10月13～18日	スイス	ベンサラ国民評議会議長	第139回列国議会同盟総会に出席
10月14～15日	エジプト	ミフビ文化相	第21回アラブ諸国文化相会議に出席
10月17～18日	クウェート	ゼマリー労働・雇用・社会保障	第89回アラブ労働機関理事会に出席
10月18日	伊	メデルシ憲法評議会議長	第116回欧州評議会「法による民主主義のための欧州委員会」（ベネチア委員会）に出席
10月24日	モーリタニア	ジェラブ商業相	アブデル・アジズ大統領，ハッダミン首相を表敬

10月29日	カタール	ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相	「ミリポール・カタール」展示会を視察。アブドゥラー首相兼内相と会談
10月29日	仏	メサヘル外相	第5回仏・アルジェリア経済合同委員会（COMEFA）に出席。ル・ドリアン外相と会談
10月29日	仏	ユースフィー産業・鉱業相	第5回仏・アルジェリア経済合同委員会（COMEFA）に出席。ル・メール経済・財務相と会談

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
10月14～15日	ナイジェリア	オンエアマ外相	第4回アルジェリア・ナイジェリア協力高等合同委員会に出席。メサヘル外相，ギトゥーニ・エネルギー相及びザアラン公共事業・運輸相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
10月16日	南ア	ランダーズ副国際関係・協力相	メサヘル外相と会談
10月21～22日	モーリタニア	イスマーイル外務・協力相	メサヘル外相，ギトゥーニ・エネルギー相及びジェラブ商業相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
10月29～30日	英	リズビー対アルジェリア経済パートナーシップ担当首相特使	アルジェリア・フューチャー・エネルギー・サミットに出席。ラウイア財務省，ギトゥーニ・エネルギー相，ジェラブ商業相，メサヘル外相と会談